

FROM SOFTWARE



# 義経英雄伝

THE STORY OF HERO YOSHITSUNE

株式会社 フロム・ソフトウェア

© 2005 FromSoftware, Inc. All rights reserved.

SLPS 25454

このソフトウェアの「解説書」および「PlayStation 2」の「取扱説明書」に書かれている注意事項をよくお読みの上、正しい方法でご使用ください。「解説書」および「取扱説明書」は大切に保管してください。

## 健康のためのご注意

- プレイするときは、部屋を明るくし、できるだけテレビ画面から離れてください。
- 疲れているときや睡眠不足のときは、プレイを避けてください。
- プレイするときは健康のため、1時間ごとに15分程度の休憩を取ってください。

## 光の刺激による発作について

- ごくまれに、強い光の刺激を受けたり、点滅を繰り返すテレビ画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいるという報告があります。こうした症状のある方は、事前に必ず医師に相談してください。また、プレイ中にこのような症状を感じた場合は、すぐにプレイを中止して医師の診察を受けてください。

## こんなときはすぐにプレイを中止する

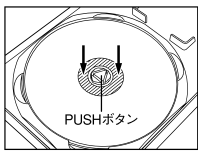
- めまい、吐き気、疲労感、乗り物酔いに似た症状などを感じたときは、すぐにプレイを中止してください。プレイを中止しても治らないときは、医師の診察を受けてください。
- 目、耳、手、腕など、身体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐにプレイを中止してください。しばらくしても治らないときは医師の診察を受けてください。

## コントローラの振動機能に対応したソフトウェアについて

- 骨、関節、指、手などに疾患のある方は、バイブレーション(振動)機能を絶対に使用しないでください。
- 振動機能を使って長い時間連続してプレイをしないでください。目安として30分ごとに休憩を取ってください。

## 使用上のご注意

- このディスクは家庭用コンピュータエンタテインメント・システム「PlayStation 2」専用のソフトウェアです。他の機種でお使いになると、機器などの故障の原因や耳や目などに悪い影響を与えたりする場合がありますので絶対におやめください。● このディスクは「NTSC J」あるいは「FOR SALE AND USE IN JAPAN ONLY」の表記のある日本国内仕様の「PlayStation 2」にのみ対応しています。● ディスクを「PlayStation 2」にセットするときは、必ずラベル面(タイトルなどが印刷されている面)が見えるようにセットしてください。● 直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど、高温のところに保管しないでください。湿気の多いところも避けてください。● ディスクは両面とも手を触れないように持ってください。● 紙やテープをディスクに貼らないでください。● ディスクにペンなどで書きこみをしないでください。● 指紋やほこりによるディスクの汚れは映像の乱れや音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。● ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方へ軽く拭いてください。● ペンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。● ひび割れや変形したディスク、あるいは接着剤などで補修されたディスクは誤動作や本体の故障の原因となりますので絶対に使用しないでください。● プレイ終了後はディスクをケースに戻し、幼児の手の届かない場所に保管してください。ケースに入れずに重ねたり、ななめに立てかけたりすると、そりや傷の原因になります。● ディスクの穴に、指など身体の一部を挿入しないでください。抜けなくなったり、身体を傷つけたりすることがあります。● ディスクは絶対に投げないでください。人体やその他を傷つける恐れがあります。● お客様の誤ったお取り扱いにより生じたキズ、破損などに関しては補償いたしかねますので、あらかじめご了承ください。● ソフトウェアによっては「PlayStation 2」専用メモリーカード(8MB)、「PlayStation BB Unit」、「PocketStation」などが必要な場合があります。詳細はソフトウェアの「解説書」などで確認してください。● 「PlayStation 2」をプラズマテレビや、液晶方式以外のプロジェクションテレビ(スクリーン投影方式テレビ)につなぐと、画像の焼き付き(残像映像)が起こることがあります。特に、静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置すると、焼き付きが起こりやすくなります。



### ディスクの取り出し

PUSH ボタンを押してディスクが浮いた状態になってから取り出してください。ディスクを無理に取り出そうとすると、ディスクが割れたり、傷が付いたり、指を挟んでけがをすることがあります。

### メモリーカードの取り出し

右端から持ち上げてください。端子側を無理に引き上げると、メモリーカードを破損させる恐れがありますので、絶対におやめください。

### ディスクの収納方法

ディスクの穴のすぐ外側(斜線部分)を、カチッと音がするまで押し込んでください。ディスクが正しく収納されていないと、割れたり、傷が付いたりする原因となりますのでご注意ください。

### メモリーカードの収納方法

△印の面を上にして、端子側を左端のフックに斜めに差し込み右端を押し込んでください。

®、™, "PlayStation", "DUALSHOCK" and "PocketStation" are registered trademarks of Sony Computer Entertainment Inc.

# 目次

物語	二
コントローラの使い方	三
登場人物紹介	四
ゲームの開始方法	六
環境設定	七
ゲーム画面の見方	八
ゲームシステム—作戦	十
ゲームシステム—アクション	十一
ゲームの流れ	十二
出陣/戦果報告	十三
メニュー画面	十四
攻略情報	十六
スタッフクレジット	十七

このたびは「PlayStation 2」専用ソフト『義経英雄伝』をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前に取り扱い方法、使用上の注意など、この解説書をよくお読みになった上で、正しい使用方法でお楽しみください。※解説書中に使用しているゲーム画面は開発中のものです。実際の画面とは多少異なる場合があります。また、全ての操作方法説明はゲーム開始初期状態のものとなります。※DVD-ROMはキズやホコリに弱いので大切に使用してください。

本ソフトウェアでは、株式会社フォントワークスジャパンフォントをもとに、ソフトウェアデザインに合わせたフォントを作成、使用しています。フォントワークスジャパンの社名、フォントワークス、Fontworks、フォント名称は、株式会社フォントワークスジャパンの商標または登録商標です。

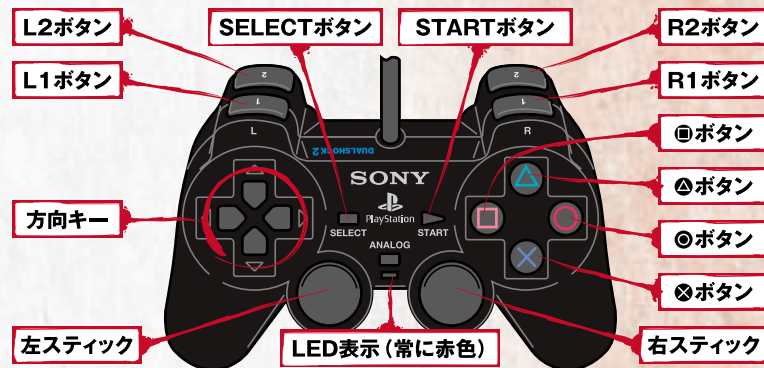
DOLBY Pro Logic II Dolby, Pro Logic, and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories. Manufactured under license from Dolby Laboratories.



このゲームには暴力シーンやグロテスクな表現が含まれています。

## コントローラの使い方

## アナログコントローラ (DUALSHOCK 2)



本ソフトはアナログコントローラ (DUALSHOCK 2) 専用です。  
振動機能はメニュー画面のオプション設定の項目でON/OFFを切り替えることができます。  
LED表示は常に赤色 (アナログモード) の状態です。

## ゲーム内での操作

左スティック	倒した方向に移動
右スティック	視点移動
○ボタン	防御／騎乗 (特定キャラクター操作時のみ) / 決定
×ボタン	跳躍／戻る
△ボタン	大攻撃／詳細
□ボタン	小攻撃／作戦確認
L1ボタン	一番隊への命令一覧表示
R1ボタン	二番隊への命令一覧表示
L1ボタン+R1ボタン	全軍命令一覧表示
R2ボタン	視点を元に戻す
L2ボタン+左スティック	歩く
方向キー上下	地図の拡大縮小 項目の選択
方向キー左右	地図表示 ON/OFF 項目の選択
STARTボタン	ポーズメニュー画面への切り替え
SELECTボタン	敵体力表示 ON/OFF

時は平安時代末期。

律令制により国に管理された土地制度が崩壊をはじめ、  
土地の豪族はその勢力を拡大するため、武装を始めた。

武士の始まりである。

豪族達は乱世を生きたため集結し、武士団を形成した。

そして、その武士団をまとめていたのが、  
和武天皇の血脈、平清盛を棟梁に置く平氏。

清和天皇から続く源義朝を棟梁に置く源氏だったのである。

両雄並ぶ立派な、平氏と源氏は次第に対立を深め、

ついに白河平治の乱において激突、源義朝は命を落とす。

戦いに勝った平氏は専横の限りを尽くし、民も、貴族も、

他の武士団も不遇の時を過ごす時代が訪れた。

「平氏におろされれば人口におろす」とは、

このころの平氏の奢りが著わせた言葉である。

戦に敗れた源氏の一族も冷遇され、名を伏せて暮らす者も少なくなかった。

時は過ぎ、1174年、京都の鞍馬寺。

僧として育てられた少年、平若丸は、奥州から来た商人、吉次に、

自分が源氏の嫡孫であることを知らされる。

平若丸は僧としての生活を捨て、鞍馬寺を出家、奥州草原に向かう。

後の世に天下無双の軍略家と称えられる、英雄源義経の立志の時であった。

## 登場人物紹介

## 武蔵坊弁慶

【むさしぼうべんけい】

熊野水軍の長、港増の子と言われるが出生を正確に記す史書はない。

一説では、母の胎内に十八ヶ月おり、産まれた時には髪が肩まであり歯も生えそろっていたと言われる。

五条大橋から衣川の自害まで常に義経に従う。敵軍からは鬼の弁慶と恐れられ義経の忠実な家来として活躍した。

千本狩りや立ち往生、内弁慶の慣用語など、その人物像を伝える言葉は今も多く残る。

## 牛若丸

【うしわかまる】

源九郎義経の幼名。  
幼少の頃は、父の敵である清盛の監視下に置かれる。

七つの時、常盤によって  
京の鞍馬寺に預けられ「遮那王」と名乗った。

僧となるはずであったが、  
奥州へ向かうため、十六で鞍馬寺を出家。

途中、鏡の宿で自ら元服を行い  
以後、源九郎義経と名乗る。

## 源九郎義経

【みなもとのくろうよしつね】

清和源氏の嫡流であった源義朝の九男。  
母はその側室の常盤。

後に義経の運命を左右することになる  
源頼朝は母連いの兄である。

源氏の総大将であり兄である  
頼朝の臣下として、  
平家を滅亡に追いやった源氏の一大英傑。

義仲討伐、一ノ谷、屋島、壇ノ浦と  
連戦連勝、多大な軍功を収める。

しかし、晩年は兄に追われ、  
三年半に及ぶ逃亡の末、  
衣川で自害した。



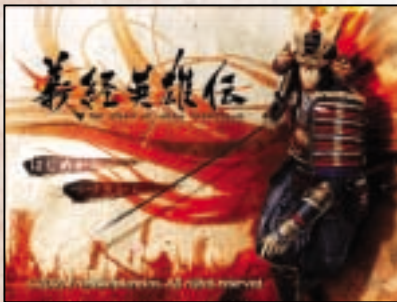
# ゲームの開始方法

## 起動方法

“PlayStation 2”本体裏側にあるMAIN POWER(主電源)スイッチを入れて、ゲームDISCを“PlayStation 2”本体にセットし、○(オン/スタンバイ)/RESETボタンを押してください。

始めに、アナログコントローラ(DUALSHOCK 2)をコントローラ端子1に接続してください。タイトル画面でSTARTボタンを押すとメニューが表示されます。

## タイトル画面



### はじめから

ゲームを開始します。

### つづきから

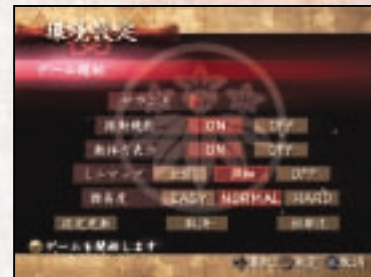
セーブデータを使用して、ゲームを再開します。



# 環境設定

## 環境設定

環境設定画面では、ゲーム中の各種設定を変更することができます。



### サウンド

オーディオ出力を変更、BGM、効果音、音声の大きさを設定することができます。  
方向キー左右で設定を変更し、更新してください。

このゲームは「ドルビープロロジックII」に対応しています。

“PlayStation 2”本体のDIGITAL OUT(OPTICAL)(光デジタル出力)端子またはAV MULTI OUT(AVマルチ出力)端子をドルビープロロジックIIx、ドルビープロロジックIIまたはドルビープロロジックデコーダ内蔵AVアンプに接続し、いずれかの機能をオンにした上で、ゲームの音響出力設定で「Dolby Pro Logic II」を選択すると、サラウンド音響でゲームを楽しむことができます。

### 振動機能

アナログコントローラの振動機能ON/OFFを設定することができます。  
方向キー左右で、設定を変更してください。

### 敵体力表示

ゲーム中、敵の体力表示のON/OFFを設定することができます。  
方向キー左右で、設定を変更してください。

### ミニマップ

ゲーム中のミニマップの表示を設定することができます。  
方向キー左右で、全図/詳細/OFF(表示しない)を変更してください。

### 難易度

ゲーム中の難易度を変更することができます。  
方向キー左右で、設定を変更してください。

# ゲーム画面の見方



- 1 プレイヤーの操作するキャラクターの情報です。
- 2 体力を表します。敵の攻撃を受けるとゲージが減少、回復アイテムを取ることで回復します。体力回復はプレイヤー以外の武将・兵にも同時に行なわれます。プレイヤーの体力が無くなるとキャラクターは死亡し、合戦敗北となります。
- 3 「氣勢珠」を表します。氣勢珠は作戦（十頁参照）に使用し、作戦を実行することで消費、一定時間で回復します。また、敵の大将、隊長を討ち取る、味方や部下が死亡するなど増減します。
- 4 一番隊の隊長が表示されます。部隊長の体力もプレイヤーの操作するキャラクター同様に、敵の攻撃を受けるとゲージが減少、回復アイテムを取ることで回復します。隊長の体力が無くなるとその場で力尽きてしまう上、次の合戦時には選択不可能になります。また、プレイヤーからの作戦指示を受けると氣勢珠が消費され、実行中の作戦名と残り実行時間が表示されます。
- 5 二番隊隊長が表示されます。表示内容は一番隊隊長と同様です。
- 6 各部隊への作戦指示が表示されます。表示される作戦は、各隊長の装備によって異なります。L1ボタンで一番隊、R1ボタンで二番隊、L1ボタン+R1ボタンで全部隊に対しての作戦が表示されます。
- 7 合戦ステージ上のミニマップ表示です。方向キー上下で拡大縮小、方向キー左右で表示のON/OFFを行うことができます。地形のほか、敵や味方の位置も表示されます。  
▲…プレイヤーを表します。 ▲…味方を表します。 ▲…友軍を表します。 ▲…敵を表します。

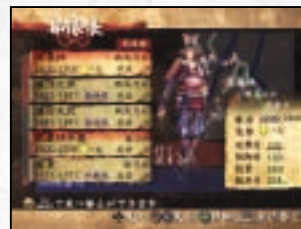
## ポーズメニュー画面

ゲーム中、STARTボタンを押すとポーズメニュー画面が表示されます。ポーズメニュー画面では合戦場の地図のほか、部隊の状態や合戦の目標を確認することができます。



## 戻る

合戦に戻ります。



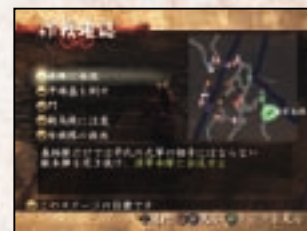
## 部隊表

自軍部隊の状態を表示します。SELECTボタンを押すと、並び替え項目の一覧が表示されます。並び替えたい項目を方向キー上下で選択し、○ボタンで決定してください。

## 作戦確認

その合戦での目標を表示します。方向キー上下で各目標の詳細が表示されます。

また、作戦確認画面でⓈボタンを押すと、敵味方の位置が表示された地図の拡大図が表示されます。



## 終了

合戦を終了し、メニュー画面に戻ります。

# ゲームシステム—作戦

## 作戦

プレイヤーは合戦中の自軍各部隊、全部隊に対して、作戦を指示することができます。

指示を受けたキャラクターは「氣勢珠」を使用して、その作戦を遂行します。

作戦遂行に必要なだけの氣勢珠が無くなると、その後氣勢珠が回復するまで、そのキャラクターに作戦を指示することができなくなります。

※使用する作戦の種類、ボタンへの割り振りはメニュー画面の装備(十四頁参照)で行うことができます。

※キャラクターによって実行可能な作戦が異なります。



**待機** その場で待機する。

**槍突** 隊長の前方に一列となり、薙刀を構える。

**強襲** 突撃し、敵がいなくなるまで攻撃を加える。

**高射** 敵に向け一斉に矢を放つ。

## 作戦成功・失敗

各作戦には成功条件・失敗条件があります。

成功条件を満たした場合には、画面効果と共に、氣勢珠の一部が「朱珠」に変化します。

※成功条件・失敗条件が無い作戦もあります。



## 朱珠

朱珠を消費して作戦を遂行した場合、通常より強力な効果を得ることができます。



## 連策

一つの作戦が成功した時に、連続して他の作戦が成功すると、連策となります。

連策が決まると、より多くの氣勢珠が朱珠に変化します。

# ゲームシステム—アクション

## アクション

プレイヤーは大小攻撃、跳躍、防御の他、以下のようなアクションができます。

### 連続攻撃

攻撃ボタンをタイミング良く続けて押すことで、連続攻撃を出すことができます。

連続攻撃時には、通常の弱攻撃、強攻撃には見られないアクションが見られます。



### 源義経の連続攻撃例

**基本連続技1** ◻ボタン→△ボタン

**基本連続技2** ◻ボタン→◻ボタン→△ボタン



### 止め

敵を攻撃した際に、ダウンさせることがあります。ダウンしている敵に近づいて◻ボタンもしくは△ボタンを押すことで、止め攻撃を出すことができます。

※止め攻撃ができるのは、敵が腰を落としておびえているか、はいつくばっている間に限ります。

### 瞬殺

攻撃のヒットするタイミングによって、敵の残り体力に拘わらず一撃で倒すことができます。

※敵武将は一撃で倒すことはできません。



### 馬上攻撃

プレイヤーは、ステージ中に出てくる馬に乗ることができます。

馬に近づき、◻ボタンで乗り降りできます。

乗馬中も、攻撃や跳躍をすることができます。

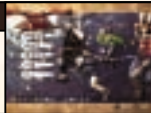
※馬に乗ることができるのは、特定の武将(牛若丸・義経・与一・源・忠信)に限ります。

# ゲームの流れ

義経英雄伝は、以下のような流れでゲームが進行していきます。

## メニュー画面 (十四～十五頁参照)

合戦に出る前の準備、義経記の閲覧等を行います。



## 出陣 (十三頁参照)

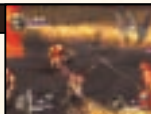
出陣する合戦を選択し、合戦の目標や勝利条件を確認します。また、連れて行くキャラクターを選択します。

※一度勝利した合戦は、いつでも出陣することができます。



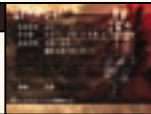
## 合戦

味方への作戦指示と自らのアクションを駆使し、勝利条件の達成を目指します。



## 戦果報告 (十三頁参照)

合戦で挙げた戦果の内容を確認します。



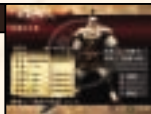
## 物語説明

合戦後の物語・時代背景が説明されます。



## 武将参入 (十三頁参照)

先の合戦の戦果に応じて、武将／兵が参入してきます。



## 次の合戦へ (メニュー画面に戻る)

# 出陣／戦果報告

## 出陣

合戦に出陣します。方向キー上下で出陣する合戦を選択し、○ボタンで決定してください。

合戦を決定すると、合戦紹介ムービーが流れ、その後ブリーフィング画面に移行します。ブリーフィング画面では、勝利条件、敗北条件の他、マップ上の敵等の配置、その合戦の情報が表示されます。



## 武将選択

出陣する武将を選択します。隊長、分隊長を変更したい場合は、各項目にカーソルを合わせ、○ボタンを押してください。方向キー左右で選択、○ボタンで変更することができます。

※未勝利の合戦では、隊長を義経以外に変更することはできません。

※一度勝利した合戦を選んだ場合は、義経以外の武将を隊長にすることができます。

※合戦によっては、出陣できない武将もいます。

※療養中の武将は選択できません。

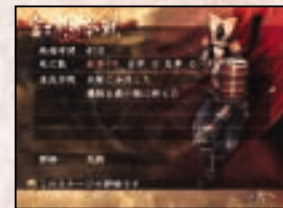


## 戦果報告

合戦に勝利した場合、戦果報告画面に移ります。達成した目標や、合戦の戦功に対する評価、武将・兵の成長ポイント等を確認することができます。

また、戦果に応じて、ボーナスアイテムが手に入る場合があります。

※評価には軍神／闘将／智将／凡将／愚将の5段階があります。経過時間／倒した敵の数／生き残った味方の数／達成作戦の数等により、評価が異なります。



## 武将・兵参入

合戦の戦功に応じて、武将や兵が参入してきます。

参入した武将は、次に合戦に出陣する時から武将選択画面にて選択可能になります。参入した兵は、兵編成 (十五頁参照) により、部隊編成に加えることができます。





# メニュー画面

## メニュー画面

メニュー画面では、出陣、部隊編成、義経記、環境設定、記録、終了の各項目を選択することができます。以下、各項目について説明します。

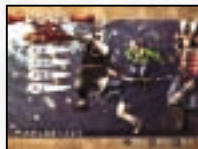
### 出陣

合戦に出陣します。(十三頁参照)



### 部隊編成

部隊編成では、成長、装備、兵編成、兵解雇の各項目を選択することができます。合戦に出撃する準備はここで行います。以下、各項目について説明します。



#### 成長

各武将は、合戦に勝利して得た成長ポイントを使用し、成長させることができます。始めに成長ポイントを持つキャラクターを選択し、●ボタンを押してください。次に項目(体力、攻撃力、防御力、技量、統率力)を選択し、方向キー左右でそのキャラクターが所持しているポイントを割り振りましょう。成長は最大で10段階まで行うことができます。割り振りが終了したら、●ボタンで決定してください。

**体力**…… 体力の上限が上がります。

**防御力**…… 一回に受けるダメージが少なくなります。

**氣勢**…… 命令の遂行に必要なものです。

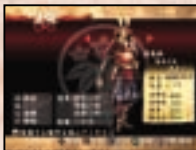
**技量**…… 瞬殺の出やすさが上がります。

**攻撃力**…… 一回の攻撃で与えるダメージが大きくなります。

**統率力**…… 指揮する部下の強さに影響します。

#### 装備

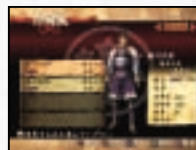
各武将が装備する武器と道具を変更することができます。装備を変更したい武将を方向キー左右で選び、方向キー上下で変更したい武器・道具にカーソルを合わせてから●ボタンを押してください。取得した武器・道具の一覧が表示されますので、変更したい武器・道具を選択し●ボタンで決定してください。



### 兵編成

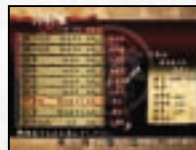
各部隊の編成をします。編成を行いたい部隊の武将を選択し、部隊編成を行うことができます。各部隊は武将を除き最大4人まで編成が可能です。

※編成できる最大数はキャラクターによって異なります。



### 兵解雇

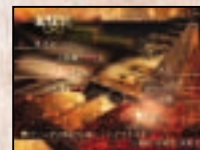
部下の解雇を行います。義経軍は最大70名までしか所属できません。状況に応じた編成、兵士の増員減員を心掛けましょう。解雇を行なう場合は解雇したい部下にカーソルを合わせ●ボタンを押してください。



### 義経記

義経が活躍した時代の年代記ゲーム中に登場する人物や各種用語の解説、音楽や画集を閲覧することができます。閲覧可能な項目は、ゲーム進行により増えていきます。未読の項目はNEWマークが表示されます。

※年代記は史実に基づいた説明になっているため、ゲーム内容とは異なる場合があります。



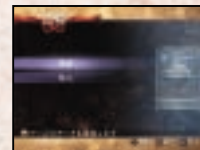
### 環境設定

ゲーム中の各種設定を変更することができます。(七頁参照)

### 記録

ゲームデータの保存・読込を行うことができます。

ゲームデータの保存には“PlayStation 2”専用メモリーカード(8MB)に172KB以上の空き容量が必要です。



### 終了

タイトル画面に戻ります。

# 攻略情報

# スタッフクレジット

## 攻略情報

### アイテムを探せ!

ステージ中に出てくる箱や壺を壊したり、敵を倒すことで、武器やアイテムが出てくる場合があります。

### 状態変化を誘え!

敵味方の兵士は、状態変化が起きる場合があります。状態変化は、作戦を使用した場合や、特殊な条件下において引き起こされます。敵を状態変化させることにより戦力を低下させることができるため、状態変化を引き起こす作戦を有効に使い、合戦を戦い抜きましょう。

#### 状態変化の一例

混乱・・・混乱し、相手に向かわずに行動する。

逃走・・・戦意を喪失し、マップの出口に向かって逃げ出す。

### つば競り合いには連打で対抗せよ!

プレイヤーと敵が同時に斬り合った場合、つば競り合い状態になることがあります。このような時は、**○**ボタンもしくは**△**ボタンを連打することで、競り合い後、敵に隙を作ることができるでしょう。

### 弓矢攻撃はガードで凌げ!

弓矢攻撃は、ガードすることで受けるダメージを極端に減らすことができます。連続した弓矢攻撃を受けて前に進めない場合は、ガードして一度態勢を立て直すといでしょう。

### 合戦目標を注視せよ!

出陣画面にて表示される合戦目標には、黄色文字で表示されている箇所があります。この箇所には注意して合戦を戦い抜くことにより、多くの目標を達成することができるでしょう。

### 高評価を狙え!

合戦後、軍神・闘将・智将といった高評価を得ることができれば、より多くの兵がその戦功を聞きつけ義経の元に参入してくるでしょう。

また、異なる評価を得ることによって新たなボーナスアイテムが手に入る場合があります。一度勝利した合戦であっても、再度挑戦してみるとよいでしょう。

#### Producer

Atsushi Taniguchi

#### Technical Dept. Staff

Main Programmer  
Yasushi Umehara

Programmers  
Masaaki Sakamoto  
Takanori Yokoyama  
Jun Ito

#### Development Dept. Staff

##### ▼3D Section

Main 3D Graphic Designer  
Ikuko Matsui

3D Graphic Designers  
Hiroyuki Okazawa  
Takuji Yoshida  
Yoshihito Okada  
Kenichi Yoshizawa  
Yoshihito Kawanishi  
Masato Miyazaki

##### ▼2D Section

Main 2D Graphic Designer  
Naomi Fujikawa

2D Graphic Designers  
Kei Munakata  
Ei Honda  
Syo Ninomiya  
Hirofumi Nakazawa

#### Planning Dept. Staff

Planners  
Yuki Yamagishi  
Kazushi Morita  
Satoshi Shoda

#### Production Dept. Staff

##### ▼Sound Section

Main Sound Designer  
Yuji Kanda

Sound Designers  
Kouichi Suenaga  
Ayako Minami  
Yuki Ichiki

##### ▼Design Section

Designers  
Eri Ogawa  
Yohei Arai  
Shinsaku Matsuoka  
Tatsuya Mori  
Hiroaki Ueno

##### ▼CG Section

CG Designers  
Toshiyuki Suzuki  
Takayuki Muro  
Sohei Saitoh

POLYASSETS UNITED INC

#### Project Management Dept. Staff

Project Management Staff  
Nozomu Sato  
Toshiya Kimura  
Taro Takezawa

Test Management Staff  
Hiroyasu Sugiyama

#### Publicity Dept. Staff

Publicity Staff  
Chieko Tsurunaga  
Noriko Ozaki  
Keiichiro Segawa

Business Staff  
Yoshinori Komatsu  
Hiroyuki Goto  
Suminobu Sato  
Tomohiro Shimokawa

Testers  
Tomohiro Ito  
Takuro Seguchi  
Yoshie Iizuka  
Humio Nakanishi  
Haruhiko Kumaki

#### Cast

Daisuke Sakaguchi  
Kenji Nomura  
Tadasuke Oomizu  
Akihiko Ishizumi  
Satsuki Yukino  
Kouichi Kuriyama  
Masao Komaya  
Kazuhisa Tanaka  
Yoshinori Sonobe  
Masato Funaki  
Rie Saitou  
Syunsuke Sakuya  
Yoshiyuki Kaneko  
Keiji Okuda  
Minako Ichiki  
Hiromu Kondo  
Shiro Saitou  
Makoto Ishii  
Takehiro Koyama  
Yu Shimaka

Voice Coordinator  
Teiji Yamamoto (TFC)  
Kouji Okano (TFC)

Voice Recording Director  
Naoko Ando (TFC)

#### Supervisor

Naotoshi Zin

© 2005 From Software, Inc. All rights reserved.